

Title	復刊の辞
Sub Title	Foreword: On the occasion of resuming the issue of the Mita journal of economics
Author	金原, 賢之助
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1950
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.43, No.1 (1950. 7) ,p.1- 2
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19500701-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

閣

東京大學經濟學部
創立三十周年紀念論文集

第一部 理論經濟學の諸問題 四〇〇円 執筆者 舞田長五郎・木村健彦・古谷弘 横山正彦・大石泰彦	第二部 戦後日本經濟の諸問題 四〇〇円 執筆者 大内兵衛・有田隆夫・山田盛太郎 大河内一男・武田隆夫・岡谷三喜男	第三部 國際經濟の諸問題 三五〇円 執筆者 矢内原忠雄・今野源八郎・櫻井克巳 除野信道・安藤良雄	第四部 アメリカ經營學と會計學 三六〇円 執筆者 上野道輔・馬場敬治・佐々木道雄 藤村義太郎・柳川昇
---	--	--	--

有

野村兼太郎 日本經濟史序説(古史) 二五〇円	野村兼太郎 一般經濟史概論 四〇〇円	島本 融 日本經濟の再建(政府展開の研究) 三五〇円	山田雄三 資本主義經濟計畫と社會主義經濟計畫 二八〇円 <small>増訂版 經濟學選書</small>	戸田武雄 マックスの生涯と學説 二五〇円	岡村正人 株式會社金融の研究 三五〇円	他六氏 世界經濟の構造と分析 三二〇円	除野信道 世界經濟の地域構造 二五〇円	前川嘉一 中小工業の實態(泉南稿) 二〇〇円
------------------------	--------------------	----------------------------	---	----------------------	---------------------	---------------------	---------------------	------------------------

東京都千代田區神田保町三ノ一七・振替東京三七〇番・送料各58円

現代經濟學全書

橫濱國立大學教授 越村信三郎 (3) 經濟學概論 二五六頁 二五〇円	法大教授 榊西光速 (6) 日本經濟史 二五〇頁 二〇〇円	慶大助教授 豊田四郎 (7) 日本資本主義發達史 二〇八頁 一七〇円	經濟學博士 沖中恒幸 (9) 貨幣金融論 二八〇頁 二二〇円	中大講師 國松久彌 (17) 經濟地理 二六六頁 二〇〇円	慶大教授 氣賀健三 (18) 經濟政策總論 三三八頁 二八〇円
------------------------------------	-------------------------------	------------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	---------------------------------

★全三十一卷 B6判總クローズ上製函入 各册分賣・送料二〇円

遊部 久藏 價值論と史的唯物論 A5判二七〇頁 價三〇〇円三三〇円	千種義人 計畫經濟概論 A5判二八八頁 價三〇〇円三三〇円	高宮 晉 企業經營新論 A5判二七〇頁 價三〇〇円三三〇円	平館利雄 一般的危機の諸問題 A5判二七〇頁 價三〇〇円三三〇円
-----------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	----------------------------------

東京都港區芝公園 中央労働會館 労働文化社
振替口座三二四九八番

三田學會雜誌

第四十三卷 第一號

昭和二十五年七月

復刊の辭

本年二月三日は福澤諭吉先生が逝かれて五十年目に當る。先生の郷里中津に於いては、同市の主催で「福澤先生五十年忌祭」が盛大に行はれたし、又引き続き東京、大阪に於いても、先生を偲ぶ數々の催しが行はれてゐる。その際吾々が先生について想起する一つのことは、先生の學者優遇の所論である。學者をして後顧の憂ひなく研究に専念せしめたいといふのが、先生の主張であつたと思ふ。

しかし乍ら、研究調査の如き比較的地味な仕事といふものは、その必要性が痛感されながらも、兎角わが國では疎略に扱はれることが多いと思ふ。殊に文科系の研究に至つては、その結果なり影響なりが眼に見えないことが多いために、甚だ恵まれぬ環境に置かれ勝ちであつて、學術研究雜誌の刊行の如きも、その例に洩れないと言つてもよい。

わが三田學會雜誌は、わが國に於ける文科系學術雜誌として、最も古い傳統と歴史を有するものゝ一つであり、現に慶應義塾大學經濟學會の機關誌である。然るに、終戦以降に於けるわが國經濟情勢の激變の結果、本誌も著しい苦境に立たざるを得なくなり、最近數ヶ月間休刊の餘儀なきに至つたのである。

復刊の辭

固より本誌の如く、敢えて時流に阿るが如きことをせず、又必ずしも質的水準を下げてまでもその通俗化を圖らうとはせず、全く各部門の研究者をしてその自ら企畫するまゝに研究を推進せしめ、その結果を發表せしめる場合には、市中一般の雑誌と同様の流布を求め得ないことは、吾々のよく承知するところである。

それにも拘らず、茲に復刊第一號を世に送り得るに至つたのは、全く慶應義塾内外からの絶大な支援の賜物であつて、吾々關係者の衷心より感佩措くところを知らぬ次第である。

惟ふに、同じく文科系の研究といつても、經濟學一般のその如きは、時代を全く離れ、たゞ超然たるを以つて足るわけでないことは明かである。それ故に、本誌の傳統はどこまでも生かして行きながらも、出来る限り編輯の方針に新味を加へることは努めるつもりである。常に時代に一步を先んずる考への下に、各部門の研究者が自由に研學し、その成果を自由に公表し得る本誌の如きが存在するといふことは、學問の進歩及び社會の發展のために、必ず寄與するところがあると、確信するのである。學問研究に深い理解と同情をもたれる大方の、今後に於ける一段の援助を懇請して止まない次第である。

尙ほ、慶應義塾大學名譽教授高橋誠一郎先生は、特に本誌のために題字を揮毫せられた。先生が本誌に對して引續き寄せられる御厚意に對し、茲に誌して深謝の意を表する次第である。

一九五〇年五月二〇日

金原賢之助

ヨーゼフ・A・シュンペーター

—革新の經濟學—

福岡正夫

なんと云つても經濟學者としてのシュンペーターの眞價は、企業の新機軸論を中心とした發展の理論の創始者であることの中に見出すべきである。

都留重人『アメリカ經濟學の旅』より

プロローグ

これはいわゆる評傳ではない。早くはその不羈の傑作『學說史』^(註1)に於いて、或ひはまた折にふれて書き綴られた幾人かの經濟學者の評論、オピチュアリー^(註2)のたぐひに於いて、自らこよなき評傳家としての手練を世に示したシュンペーター教授そのひとに、いま改めて恰好な敘傳を、といふのであれば、それはあたかもマールシャルを敘するにかのケ

ヨーゼフ・A・シュンペーター